

放課後等デイサービス・児童発達支援・事業所自己評価

2021年2月

デイサービスまリモ

◆環境・体制整備

・工夫している点

利用者人数が多い時には、子供たちそれぞれの活動に合わせたスペースを確保するため、学習スペースやプレイスペースの住み分けをするなど、スペースを有効に使用できるように工夫しています。また、利用者が使用する空間はバリアフリーになっており、必要と思われる個所には、手すりを設置しています。

更に、新型コロナウイルス及び、感染症対策として、室内、送迎車内、備品類、おもちゃ類など全てに光触媒抗菌コーティングを施工し、安心してご利用いただける環境づくりに取り組んでいます。

・改善・改善目標

昨年に引き続き、保護者様と職員間の情報伝達等、より一層のコミュニケーションを図ります。

◆業務改善

・工夫している点

毎日の情報共有及び、毎週火曜日に職員ミーティングを実施しています。

また、最低月に1度社内勉強会を実施し、職員間の共通認識や方向性を統一させ支援内容の向上を目指しています。

・改善目標

保護者等からの事業所評価表に基づき、施設の資質向上に努めていきます。

また、今後アプリケーションを使用したWeb上での外部研修及び、

新型コロナウイルスの流行収束に合わせ、外部研修会、勉強会へ積極的に参加していきます。

◆適切な支援の提供

・工夫している点

学校や相談支援員を交え、療育の方向性にブレが生じないように定期的にモニタリングを行うなど注力しています。療育プログラムや行動予定は、複数の職員が意見を出す場を設け、他視の状況で決定しています。

・改善・改善目標

今後もより一層、関係各所との連携を図り、ここに適した療育の提案と実践に努めてまいります。

◆関係機関や保護者との連携

・工夫している点

サービス会議や担当者会議とうに出席する際は、児発管と子供の状況を十分理解しているスタッフが参加することで、保護者様、学校との間で情報共有を図っています。ご自宅への送迎の際には、連絡帳に記入しきれなかった施設での様子や、学校からの伝達事項をお伝えしています。

また、おたよりの発行や地域連絡会に参加するなど情報共有を図っています。

・改善・改善目標

新型コロナウイルスの流行により、昨年まで開催していた、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会等、保護者様や、近隣の方々、関係各所の方々にも参加いただいていたイベントをすべて中止したため、今年は収束状況に合わせて開催し、各所との連携や交流を図る。

また、それが不可能な状況となった場合、別の形式で連携及び、交流方法を試案したい。

◆保護者への説明責任等

・工夫している点

活動内容や情報等はブログを作成し(約3回/週)情報発信をしています。

下記 URL からご覧いただけます。



[https://h-navi.jp/support\\_facility/facilities/157353](https://h-navi.jp/support_facility/facilities/157353)

・改善。改善目標

新型コロナウイルスの流行もあり現時点では、定期的な保護者会等は開催していません。今後、ご希望が複数ありましたら、開催する方向で準備を進めていきます。

◆非常時の対応

・工夫している点

防災マニュアルや、事故対応マニュアル等を作成し職員へ情報共有しています。

利用者のアレルギーや発作等の状況は、利用契約時に詳細を聞き取りし、その後全職員と情報を共有し、対応等の勉強会を実施しています。

・改善・改善目標

各訓練等を実施した場合、関係各所に通知します。